２０２１年５月１０日発行　「大地」　第１９１号

蓮田太陽の里

だいち

地域に生きる

編集者：「だいち」広報委員会
〒349-0101 埼玉県蓮田市黒浜 1045-1
TEL　048-764-3881
FAX　048-764-7788
HP　http://minuma-hukushi.com/

ホワイトデーの取り組み

３月14日、ホワイトデー当日。男性の仲間たちで、女性の仲間たちへ日ごろの感謝を込めて、プリンを作りました。仲間の方から率先して、材料を計量したり、混ぜたりしてくれました。

「混ぜるのってだんだん硬くなってきて、意外と大変だね。」と、一生懸命混ぜてくれた仲間、一つ一つカップに流し入れながら、「おいしいって言ってくれるかな～？」と味を気にする仲間など、それぞれ楽しみながら行っていました。職員が「出来上がったプリンを女性に一緒に渡しに行く人？」と言うと、元気に何人も手が挙がり、交代で女性にプリンとメッセージカードをニコニコしながら手渡しました。女性から「ありがとう！」の返事に、満足げな表情でした。

富谷　勲（職員）

「バーチャル旅行」～タテゴトアザラシの赤ちゃんを見に行こう～

今年度はコロナウイルスの影響により、例年の一泊旅行に行くことができないため、大地の大きなＴＶを使ったレイトショーやファミリーレストランの宅配など、お楽しみ企画を旅行の代替企画として行い、３月には、年度内最後の企画「バーチャル旅行」を実施しました。

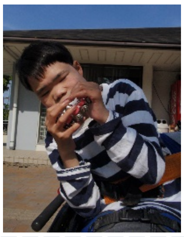
交流スペースの大きなＴＶにパソコンを繋げて、カナダの北部に生息するタテゴトアザラシの赤ちゃんの映像をみんなで鑑賞しました。

アザラシのとても可愛らしい姿が沢山映し出されており、参加した職員、仲間共にコロナウイルスでの我慢の日々によるストレスを少しだけ忘れることができたような、そんなほっこりとした時間を過ごせたのではないかなと思います。

コロナウイルスの終息にはまだまだ時間がかかりそうですが、その中でも今回のように仲間が少しでも楽しい時間を過ごせるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

小林　颯太（職員）

GW企画での外出の様子



FamilyMart

新任職員紹介

遊佐大地

銭袋あかね

よろしくお願いします！

２０２１年5月１０日発行　「大地」　第１９１号

なかまとみんなの輪

とやももかの詩のコーナー

またいつか

またいつか いきるつなが
このいえに うまれたい

2021.4.5

異動職員挨拶

４月から「蓮田はすの実作業所」に異動しました、宍戸敬典です。

大地では、１年程お世話になりました。コロナ禍ということもあり、あっという間に過ぎてしまいましたが、大地のたくさんの仲間たちと一緒に、数少ないですが色々なことを行うことができました。はすの実作業所でも頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

宍戸　敬典（はすの実作業所　職員）

ご協力お願いします！

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

ボランティア担当（面来、野村）

②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿１００％の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。

是非ご協力お願いします。

ウエス、古本担当（野村、北隅）

③白地のタオル

食事の際に、台ふきとして使っている白地のタオルが不足しています。ご協力、宜しくお願い致します。

コロナ禍での入院生活～仲間からの声～

先日熱が出て、入院をした。病名は、尿路感染と水腎症だった。この時期に入院するのは、かなり面倒くさい。まず、コロナウイルスの抗体検査とPCR検査、そしてCT撮影をして、感染者でないことがわからないと入院させてもらえない。患者として病棟にすぐ入ることもできない。様子をみるために、2~3日は隔離された部屋で点滴などの治療をして、先生の許可がでたら、晴れて入院患者として扱われる。

患者は病棟から出てはいけない、エレベーターに乗るのもいけない。面会も禁止。先生の許可のない飲み物や食べ物もダメ。テレビでコロナ病棟の様子を見たが、医師も看護師も命がけで働いているように見えた。しかし、この病院はコロナ患者を受けてないようで、殺気立った雰囲気は感じなかった。

丸山君がちょうど同じ病院に入院していた。同じ階だったのだが、病棟が違ったので会いにいけなかった。だが、時々丸山君によく似た泣き声が聞こえた。共用の休憩室に遊びに来ているようだ。その部屋の窓のガラス越しに、桜の花が満開だったのが不思議な風景に思えた。

嶋　修二（仲間）